

●一斉学習 ■児童生徒実践型

実践タイトル タブレットPCに書いた熟語を共有

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

- ・考えた熟語をタブレットPCに書き込み、書いたものをすぐ映せるので時間短縮になる。
- ・短時間に何度でも電子黒板に映せるようにする。

静止画(児童がタブレットPCの模造紙に書き込んだ熟語)

- ・児童が書いた熟語を基に熟語の構成を学ぶことで、興味を持たせ理解を深めさせる。

参考にしてほしいポイント

- ・タブレットPCの模造紙を使い漢字の書き取りを導入で行うことにより、タブレットPCの使用に慣れ本時の学習への興味を高める。
- ・話を聞く場面では、タブレットPCにロックをかけて、操作をできないようにする。
- ・児童のタブレットPC画面を一齐に電子黒板に投影する。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 15	・漢字の書きの問題の答えをタブレットPCの模造紙に書き、電子黒板に投影し答えを確かめる。	・電子黒板で電子教科書を投影(写真1)
	・デジタル教科書を使い、3文字熟語が使われていることを知る。	
展開 15 35	・身の回りに沢山の熟語があることに気付き、3分間で3文字熟語を思いつく限りタブレットPCの模造紙に書く。	・タブレットPC画面を電子黒板に映す(写真2)
	・タブレットPC画面を電子黒板に映し、書かれた3文字熟語を確認する。	
まとめ 35 45	・3文字熟語を基に、熟語の漢字の意味や構成に着目し、3つの形があることを知る。	
	・自分の考えた3文字熟語を3つに分類し、色分けをする。	



写真1: タブレットPCの模造紙に書いた答えを電子黒板に投影し、答えを確かめる



写真2: 児童タブレットPCの画面を転送し、書かれた3文字熟語を確認する

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・タブレットPCに書くこと自体に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んだ。また、みんなの書いたものが一齐に見られるので、他の人の考えを、すぐに確認することができ、理解を深めることにつながった。

活用効果

評価の観点	・国語への関心・意欲・態度	具体的変容	・タブレットPCに書いたものが、すぐに一齐に電子黒板に表示できるので児童の考えを集約でき、理解を深められた。
-------	---------------	-------	--

実践の手応え

- ・タブレットPCや電子黒板を利用して、伝え合い共有することで、多様な考えに気付くとともに、自らの理解を深めることができた。